

令和2年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 島原地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】 月～金 午前9時から午後5時まで 休業時間・休業日の緊急時には担当者に連絡できる体制をとっている。 【事業実施地域】 下京区 郁文学区、淳風学区、光徳学区、七条第三学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①地域包括の役割・介護予防サービスについて周知活動を継続して実施している。 ②コロナ禍において感染状況を確認しながら、地域ケア会議を開催し、共にネットワーク内で困難ケースを乗り切っていく関係構築が維持できるように努力した。 ③郁文・淳風・光徳・七条第三学区の地域福祉員との連携や、要援護高齢者の実態把握に努めている。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

【職員体制】 センター長1名（主任介護支援専門員と兼務） 保健師1名 社会福祉士2名 介護支援専門員 1名 合計5名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

特殊設備等の保守管理以外は市内中小企業を活用している。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

人

(2) 相談延べ件数（実績値）

件

(3) 収支実績

ア 令和2年度収入状況（単位：円）

委託料	26,428,000
介護保険収入	13,460,227
その他	544,428
収入計	40,432,655

イ 令和2年度支出状況（単位：円）

人件費	28,604,741
事業費	0
委託費	3,833,340
小額修繕費	23,760
その他	1,007,392
支出計	33,469,233

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

年間6回を予定した健康教室楽楽広場は、11月のみ開催できました。そこで、参加者の満足度アンケートを実施しました。

(2) 利用者満足度把握の結果

リフレッシュ度は100点満点が多く。感染予防対策について満足。その他の感想では、楽楽広場の開催を望む声と、今できることとしてはこれで十分というご意見をいただきました。実際に楽楽広場開催中のご様子も、顔なじみの方と再会ができたことを喜ばれていました。今回は、ソーシャルディスタンスを保つため、自由参加から参加申込制にしましたが、特にトラブルはございませんでした。

(3) 意見等への主な対応状況

今後は、どのように健康教室を継続するのか、他の形を考えていくのかを検討している所です。外で出来るラジオ体操等は良いと思いますが、開催場所確保等の課題があります。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

介護予防支援給付対象者数と相談延べ件数は、前年度と比べて減少したのは、コロナ禍において接触を控えられた事も一因である。見守りが不十分になっているかと危惧されるため、4レベルの地域ケア会議では、マンション等に包括の啓発内容のポスター配布を提案し実行された。コロナ禍において、これまでの地域との連携が弱くなってしまわないよう、Ⅲレベルの地域ケア会議は感染症対策ととりながら出来る限り開催の方向で検討した。島原包括主催の健康教室は、認知症や疾患、障害のある方も元気な方も年齢も関係なく一緒に楽しめるように企画しているが、年6回の開催予定が年1回の開催になったが、今後の開催についての検討材料にはなった。